

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	ロケーション関連事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	森田美佐世	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	ロケーション施設管理費(01-01-01)				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 15年度	根拠			
終期設定	有 無 24年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	映画、ドラマ、CMなどの撮影を区内に誘致し、映像を通して区のイメージアップを図る。				
対象者等	映画、ドラマ、CMなどの制作会社				
内容	<p>区内公共施設や区内での撮影を誘致するために、施設の提供、手続きの利便性向上等支援を行う。</p> <p>1 旧道灌山中学校校舎3階の一部を映像制作コーディネータに貸付け、ロケ場所として提供 貸付場所 荒川区西日暮里5-37-5 旧道灌山中学校 3階一部346.64㎡(トイレ等教養部分は除く) 貸付料 月額 223,000円 共益費 月額 50,000円 使用時間 午前9時～午後9時</p> <p>2 ロケに関する相談受付、情報提供、区施設使用に係る連絡調整</p>				
経過	<p>平成13年 3月 道灌山中学校廃校 9月 校舎をACCに無償貸与</p> <p>平成15年 2月 ACCがロケ場所として提供(映像制作コーディネータに貸付け) 10月 ACCへの無償貸与中止、区が映像制作コーディネータに貸付け</p> <p>平成17年 4月 公募により、コーディネータの選定</p> <p>平成18年 6月 貸付け方法の見直し</p> <p>平成19年 3月 公有財産管理運用委員会において、平成22年度まで延長決定</p> <p>平成20年 6月 25年3月までの暫定利用期間の延長の方向(3ヵ年)</p>				
必要性	映像を通じた区のイメージアップを図ることができる。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算額			16,166	6,185	1,409	1,382	1,396	1,352
決算額(21年度は見込み)			535	570	629	627	647	1,352
人件費				3,062	904	1,342	424	
【事務分担量】(%)				50	25	30	25	
合計(+)		0	535	3,632	1,533	1,969	1,071	1,352
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)		3,129	7,958	4,202	6,585	3,276	3,276	3,276
一般財源		-3,129	-7,423	-570	-5,052	-1,307	-2,205	-1,924
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	旧道灌山中学校利用件数		85	145	80	73	58	70
	その他区施設でのロケ件数		40	34	23	27	36	30
	ロケに関する相談等受付件数				73	51	90	80

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	光熱水費	電気料		81	電気料	63	電気料
需用費	建物修繕ほか		35	建物修繕ほか	18	建物修繕ほか	675
役務費	受水槽清掃		12	受水槽清掃	12	受水槽清掃	12
委託料	清掃、管理、警備		499	清掃、管理、警備	554	清掃、管理、警備	570

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	旧道灌山中学校利用件数	80	73	58	70	80	暫定利用（平成25年3月まで）
	その他の区施設でのロケ件数	23	27	36	30	40	公園、体育館等の利用状況
	ロケに関する相談件数	73	51	90	80	90	観光振興課受付分

（問題点・課題）	<p>撮影の誘致を拡大するためにPRの充実、支援機能の充実が必要である。 区のイメージアップに結びつけるための方策について検討する必要がある。</p>
他区の実況	<p>（実施 2 区 未実施 区）</p> <p>台東区フィルムコミッション（平成17年度～） 学校施設の提供は、台東区、豊島区が実施</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
<p>区施設の使用に関して、関係部課との連携し、ロケの利用条件等の一覧を作成し、HP等で公表する。 なお、区施設だけでなく区のあらゆる資源をロケ地となるように拡大方法を検討していく。</p>	<p>ロケ手続き等の利便性を充実することにより、ロケの誘致件数を拡大できる。</p>
<p>クレジットの挿入依頼、ロケに関する区内外へのPR等イメージアップに結びつけるための方策について検討する。</p>	<p>映像を通じた区のイメージアップ効果が期待できる。</p>

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	<p>荒川区におけるロケ誘致件数を増加させるため、旧道灌山中学校のロケ施設を含め効率的かつ効果的な運営方法を検討していく</p>

議会質問状況（要）	<p>H14二定 FCの検討について H14三定 「ロケの街」として売り込むための取り組みについて H21一定 「フィルムコミッション」への取り組みについて</p>
-----------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	観光情報提供事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	野沢、川上	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	観光情報提供事業(01-02-01)				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	14 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	荒川区の観光情報を区内外に広く提供することによって、区のイメージアップを図るとともに区への来訪者を増やし、地域経済の活性化を図る。				
対象者等	区外の人々及び区への来訪者				
内容	観光ガイド（イベントカレンダー）の作成（平成14年度～） 産業HPに区内行事のインターネット動画配信（平成14年度～） 平成18年度から9件（都電荒川線沿線のバラ、素盞雄神社天王祭、諏方神社御神幸祭、胡録神社例大祭、尾久八幡神社例大祭、仲町通り阿波踊り大会、元三島神社大祭、石浜神社神幸祭、熊野前サンバカーニバル）を常時配信 産業HPに都電荒川線花見どころサイトの開設（平成14年度～） まちあるきマップの作成（平成17年度日暮里・南千住、18年度都電荒川線沿線、19年度日暮里・南千住改訂、20年度都電荒川線沿線に舎人ライナーを含め改訂、21年度日暮里・南千住改訂、日暮里・谷中マップ作成） 観光ボランティアガイド養成講座（平成18年度全10回27人登録、19年度全10回15人登録、20年度全10回23人登録、21年度全10回予定） *登録者数62人 観光ボランティアガイドの活動（平成18年度～） 都電荒川線散策マップ（平成19年度） 行政観光パンフレットの作成（平成20年度） 観光スポット特集冊子の作成（平成20年度） 区HPのトップページに観光情報バナーを開設（平成21年度）				
経過					
必要性	多様な情報発信により区のイメージアップ、来訪者の増加を図ることができる。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予 算 ・ 決 算 額 等 の 推 移	（単位：千円）							
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算額		7,192	14,727	2,775	2,816	5,933	10,000	5,681
決算額（21年度は見込み）		2,292	1,276	3,155	2,391	4,776	6,411	5,681
人件費				6,033	9,394	11,102	8,599	
【事務分担量】（%）				70	110	130	140	
合計（+）		2,292	1,276	9,188	11,785	15,878	15,010	5,681
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源		2,292	1,276	9,188	11,785	15,878	15,010	5,681
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	観光ガイド(イベントカレンダー)	8,000部	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部	32,000部
	まちあるきマップ			116,000部	56,000部	116,000部	68,000部	116,000部
	観光ガイド養成講座受講者数				27人	15人	24人	20人
	来訪者からのガイド要請による活動回数				2回	7回	10回	18回

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報償費	観光ガイド養成講座謝礼	23	観光ガイド養成講座謝礼	23	観光ガイド養成講座謝礼
一般需用費	観光ガイド	436	観光ガイド、観光案内冊子ほか	2,586	バッチ作成消耗品	445	
	観光ガイド養成講座ほ	2,281					
役務費		0	郵送料	289	ボランティア保険	20	
委託料	動画配信	148	まちあるきマップほか	3,240	まちあるきマップほか	5,018	
	まちあるきマップ	1,888					
備品購入			カメラほか	273	テレビ	60	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	観光ボランティアガイドの利用者数	23人	206人	209人	250人	300人	来訪者からのガイド要請による利用者数
	観光ボランティアガイド活動者数	8人	48人	71人	90人	100人	来訪者要請以外にも活動したガイドの延べ人数

(問題点・課題)	<p>区の多様な魅力と最新の情報を適切に提供していく必要がある。 観光ボランティアガイドが活躍する場を拡大していくことが必要である。</p>
他区の実況	<p>（実施 22 区 未実施 区）</p>

問題点・課題の改善策検討		
	平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	ホームページやパンフ等の充実を始め、多様な手法によりニーズに応じた荒川区の観光情報を提供する。	適時適切な情報発信を行い、区の魅力を多くの人々に伝えることにより、来訪者を増やすことができる。
	観光ボランティアガイドを積極的に広くPRするとともに、より一層様々な観光スポットの案内ができるよう取り組む。	来訪者の多様なニーズに応えられることができ、区の魅力をPRすることができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	観光振興を図るための基本的な事業であるため、さらにPRに努める必要がある。

議会質問状況（要旨）	<p>H16一定 観光振興に学芸員を活用して。 H16三定 観光組織づくり。観光スポットを売り込む。 H16三定 コリアンタウンの情報発信をすべきである。 H16四定 観光ガイド養成講座を開設。菓子問屋ミュージアムの開設。 H18三定 観光マップの活用を図るため、協力店を募集し、配布拡大を図るべきである。 H18四定 日暮里、三河島の再開発ビルに「観光案内ステーション」を設置し、観光スポットを発信する。 H20三定 東京観光情報センターの日暮里駅への誘致について。</p>
------------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	荒川区観光大使PR事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	内田 まどか	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	荒川区観光大使PR事業(01-02-02)				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 18 年度	根拠			
終期設定	有 無 年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区の魅力を積極的に紹介していただける著名人を「荒川区観光大使」として任命し、幅広い人脈やネットワークを活かして、荒川区のPRとイメージアップを図る。 また、小中学生には、「あらかわ魅力伝え隊」として区のPR活動を通じた、郷土意識の醸成を図る。				
対象者等	・荒川区在住又は出身者で、区に愛着を持ち、区の魅力を積極的に紹介していただける著名人 ・区内小中学生				
内容	<p>実施内容 (観光大使)</p> <ol style="list-style-type: none"> それぞれの立場において機会あるごとに荒川区のPRをしてもらう。 荒川区観光大使としての名刺を作成。 区長と観光大使との対談を実施し、対談内容をケーブルテレビやホームページ等で情報発信する。 都電荒川線のポストカードを作成。 <p>(あらかわの魅力伝え隊)</p> <ol style="list-style-type: none"> 観光大使の補助的役割を担う 区内小中学生が、区外の児童と交流する場において、名刺や観光パンフレットを配布する。 				
経過	平成20年度「あらかわの魅力伝え隊」を試行実施				
必要性	著名人を活用した効果的な区のイメージアップ				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額				1,379	759	686	309	
決算額(21年度は見込み)				380	331	343	309	
人件費				7,686	2,562	1,694		
【事務分担量】(%)				90	30	20		
合計(+)	0	0	0	8,066	2,893	2,037		
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源	0	0	0	8,066	2,893	2,037		
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	観光大使任命(人)				4	0	0	2
	区長との対談(回)				1	0	0	1
	PR活動				名刺作成	冊子作成	名刺・ポストカード	
	あらかわの魅力伝え隊						2回	4回

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	対談報償費	0	対談報償費	0		
旅費	費用弁償	0	費用弁償	0			
一般需用費	観光大使冊子作成	331	観光PR名刺印刷	57	観光PR名刺印刷他	304	
使用料			ポストカード作成	286	会場使用料	5	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	魅力伝え隊活動実績（回）	-	-	2	4	4	

（問題点・課題分析）	観光大使に、荒川区を積極的にPR活動をしてもらうような、PR物品を検討することが必要である。
他区の実況	（実施 6 区 未実施 16 区） 中央区（ミス中央）3人、台東区（たいとう観光大使）18人、豊島区（ソメイヨシノ桜の観光大使）3人、北区（北区アンバサダー）6人、品川区（観光大使）5人、墨田区（すみだ親善大使）3人

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
積極的なPR活動につながるPR方法を行う	観光大使の関係先としてメディア関係が想定されるが、大使を通じて大使の関係者へ区をPRすることで、知名度が上がり、メディアで取り上げられることが期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	当初の規模で実施する。

況（要旨）	議（質問状）
-------	--------

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	産業観光推進事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	日下、野沢	内線	460
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	産業観光推進事業（01-03-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 14 年度	根拠			
終期設定	有 無 年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	荒川区の産業技術や伝統工芸技術、区内で製造・販売されている優れた商品の紹介とPR、そしてモノづくり見学・体験スポットを通じて、モノづくりの街荒川のイメージアップと産業観光を推進する。				
対象者等	商品の製造、販売事業者 区民、区外の人々及び来訪者				
内容	<p>観光PRコーナーの設置（おすすめ品の販売等）・（平成20年度実績） あらかわの伝統技術展、<u>荒川区産業展</u>、<u>TCK大井競馬場</u>、<u>つくば市産業展</u>、<u>鉄道フェスティバル（尾久駅構内）</u>、<u>駅からハイキング</u>、<u>路面電車の日</u>、<u>都電荒川線の日フェスティバル</u>、<u>旅フェア2008</u>、<u>まるごとバザールin大垣</u>、<u>大田観光商い展</u>、<u>都庁観光情報センターPRコーナー（伝統工芸、マイスターの実演）</u> はブランドの物販あり</p> <p>「荒川ブランド」商品を紹介する冊子の作成・配布 平成17年度 荒川のおすすめ品 区民が選んだおみやげ編Part1（33商品） 平成18年度 伝統工芸品、荒川マイスター製品編（伝統工芸品47商品、荒川マイスター製品17商品） 平成20年度 伝統工芸品、荒川マイスター製品編改訂（伝統工芸品44商品、荒川マイスター製品18商品）</p> <p>産業観光スポット整備支援事業 区内で製造業を営む事業者等が「モノづくり」の現場を訪れた人々に公開するために、作業所（工場等を含む）、店舗、自宅等の改修を行った場合に補助金を交付する。 2/3補助（100万円上限）うち1/2は都補助あり 平成19年度 2件 平成20年度 6件 平成21年度 5件（予定）</p>				
経過	平成20年度 都電ウォークラリーは事業を分離させた。 荒川ブランドセールスプロモーション事業を統合 伝統技術展は経営支援課へ移行				
必要性	区内観光情報を区外に発信し、区のイメージアップを図る。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算額		900	900	3,900	30,814	11,713	9,552	8,241
決算額（21年度は見込み）		506	467	3,366	4,708	4,814	7,521	8,241
人件費				7,996	11,956	11,346	5,929	
【事務分担量】（%）				100	140	140	70	
合計（+）		506	467	11,362	16,664	16,160	13,450	8,241
国（特定財源）								
都（特定財源）						698		
その他（特定財源）								
一般財源		506	467	11,362	16,664	15,462	13,450	8,241
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	PR事業(回)	2	2	4	5	9	11	11
	内、ブランドPRイベント(回)			1	2	7	8	8
	商品紹介冊子作成(部)			10,000	20,000		20,000	
	産業観光スポット整備(件)					2	5	5

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費			審査委員謝礼	7	審査委員謝礼	28
	一般需用費	消耗品	159	パンフレット作成	318	奥の細道・PR他	900
	委託料	伝統技術展他	2,313	会場設営委託	1,330	【旅費】・大垣	143
	委託料	展示販売会場設営委	946	荒川ブランド冊子	788	イベントPR設営	1,300
	使用料			会場使用料	361	荒川ブランドPR	600
	負担金	産業観光スポット整備	1,396	スポット補助金	4,716	スポット補助金	5,000
						奥の細道補助	270

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	イベント会場での実演・展示実施件数	6件	9件	10件	10件	8件	
	モノづくり見学・体験スポットの件数		2件	8件	13件	20件	数値は累計

（問題点・課題分析）	<p>観光振興、産業振興に結びつく効果的なPR方法を検討、実施する必要がある。 モノづくり見学・体験スポットの広がりつつあるため、将来的には、地域ごとや伝統工芸、マイスター等に区分した観光ルートの設定などを、検討する必要がある。</p>
他区の実況	<p style="text-align: center;">（実施 5 区 未実施 17 区）</p> <p>東京都産業を活かした観光ルート整備支援事業活用区 台東区（中小製造業アトリ工化支援事業）、豊島区（伝統工芸を巡る小路案内事業）、墨田区（3M運動ガイドマップ）、板橋区（産業観光ガイドブック）、江東区（ものづくりマップ作成）</p>

問題点・課題の改善策検討	
	平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容
	<p style="text-align: center;">改善により期待する効果</p>
	<p>区内外のイベント会場、来客施設等での展示、販売を拡大する。</p>
	<p>より多くの人に荒川区の優れた商品を知ってもらうことにより、区のイメージアップと観光振興、産業振興を図ることができる。</p>
	<p>モノづくり見学・体験スポットをさらに拡大していく。</p>
	<p>新たな区の観光資源に加えていくとともに、さらに産業観光の推進が期待される。</p>

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	引き続き積極的にPRするとともに、モノづくり見学・体験スポットの拡大を目指す。

議（要旨）	<p>H17二定 産業観光の視点で、姉妹友好都市交流をするべき。 H17二定 日暮里・舎人線の開通に合わせて、イベントを開催してはどうか。 H18一定 観光産業振興を図るため、花電車を走らせたらどうか。 H18四定 都電を活用し、荒川区の観光振興を図るべきである。</p>
-------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	観光イベント助成	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	日下、野沢、森田	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	その他観光イベント助成(01-04-02) 川の手荒川まつり助成(01-04-01)				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	62 年度	根拠	荒川区観光振興事業補助金交付要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等	川の手荒川まつり実行委員会実施事業補助金交付要綱	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区民の開催する観光事業を支援し、区民とともに観光資源を育成する。				
対象者等	区民主体の民間団体				
内容	1 川の手荒川まつり 平成18年度 南千住野球場 20,004千円(20回記念シンポジウムや郷土芸能の祭典) 平成19年度 東尾久運動場 7,465千円 平成20年度 荒川遊園運動場 7,832千円 2 シダレザクラ祭り 平成18年度 2,175千円 平成19年度 2,192千円 平成20年度 2,194千円 3 観光振興事業補助 平成17年度 1件 50千円 平成18年度 2件 100千円 ホテル鑑賞の夕べ(50千円)矢立初めの俳句大会(50千円) 平成19年度 4件 180千円 ダイヤモンド富士(50千円)鈴虫の音色を聞く会(30千円)矢立初めの俳句大会(50千円)隅田川お花見クルーズ(50千円) 平成20年度 5件 1,182千円(日暮里舎人開業イベント1000千円、鈴虫の音色を聞く会(32千円)矢立初めの俳句大会(50千円)隅田川お花見クルーズ(50千円)、日暮里繊維街マップ作成(50千円))				
経過	1 川の手荒川まつり 昭和62年以来、（計5回を除き）毎年4月29日（祝）に実施。17年の実行委員会において開催場所を南千住野球場、東尾久運動場、荒川遊園運動場、汐入公園で毎年開催することをルール化した。				
必要性	地域が主体となって、実施している事業を支援し、定着させる。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算額		9,036	11,387	10,075	28,920	10,074	12,688	12,322
決算額（21年度は見込み）		8,023	9,004	9,221	22,316	9,927	11,490	12,322
人件費				12,158	6,694	9,271	8,714	
【事務分担量】（%）				170	100	130	140	
合計（+）		8,023	9,004	21,379	29,010	19,198	20,204	12,322
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源		8,023	9,004	21,379	29,010	19,198	20,204	12,322
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	シダレザクラ祭り参加者		500人	3000人	5000人	7000人	7000人	8,500
	事業補助金(日暮里イベント含む)			1件	2件	4件	5件	6件
	川の手荒川まつり来場者		100千人	40千人	60千人	60千人	60千人	60千人
川の手荒川まつり参加団体			121	136	134	139	147	

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	補助金	シダレザクラ祭り補助金	2,192	シダレザクラ祭り補助金	2,194	シダレザクラ祭り補助金	2,200
	事業補助金	180	事業補助金	182	事業補助金	250	
	川の手荒川まつり補助金	7,555	川の手荒川まつり補助金	7,833	川の手荒川まつり補助金	8,213	
			日暮里イベント	1,000	日暮里イベント	1,000	
一般賃金			臨時職員	195	臨時職員	538	
時間外手			時間外勤務手当	86	時間外勤務手当	121	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	観光事業補助金申請件数	2件	4件	5件	6件	5件	
	シダレザクラ祭り来客数 (人)	5千人	7千人	7千人	8.5 千人	8.5千人	
	川の手荒川まつり来場者数 (人)	60千人	60千人	60千人	60千人	60千人	

（問題点・課題分析）	（指標の数値は、天候等外部的な要因で左右されるため、達成困難な場合が想定されるものである。）
他区の実況	（実施区 未実施区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	観光振興を図る上で、区民・事業者の自主的活動の支援を進める必要がある。

議会要旨	H16一定 沿線商店街と連携した都電乗客サービスの提供と路面電車サミットの開催について H14三定 都電沿線の文化祭における区及び地元商店街の関わり方について
------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	観光振興懇談会運営費	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	栗村	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	観光振興懇談会運営費(54-88-50-01)				
事務事業の種類	新規事業（ 21年度 20年度 ）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 18 年度	根拠	荒川区観光振興懇談会設置要綱		
終期設定	有 無 年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	観光に関する様々な分野の有識者で構成する懇談会において、区の観光振興の目指すべき方向とその実現のために必要な具体的施策等について検討いただき、その提言に基づき、区の観光振興施策の効果的な推進を図る。				
対象者等	学識経験者、観光関係団体、観光・交通事業者、産業団体関係者等				
内容	<p>【平成18年度】 懇談事項</p> <p>1 区内の観光及び観光資源の現状 2 これまでの観光振興施策 3 他自治体における事例等の調査研究 4 調査機関による基礎調査の分析・検討 5 観光振興施策の今後の方向性及び具体的施策</p> <p>【平成19年度・20年度】 18年度の調査報告書、懇談会提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証</p> <p>【視察経過】 第4回懇談会 川越市視察 第8回懇談会 都電荒川線荒川車庫等、区内視察 第9回懇談会 山谷(城北旅館組合)・谷中地域視察</p>				
経過					
必要性	より多くの来訪者を呼び込むために新たな観光施策の検討が必要である。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予 算 ・ 決 算 額 等 の 推 移	(単位：千円)							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額				8,357	2,142	1,104	774	
決算額(21年度は見込み)				6,050	412	474	774	
人件費				7,686	3,416	1,335		
【事務分担量】(%)				90	40	30		
合計(+)	0	0	0	13,736	3,828	1,809	774	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源	0	0	0	13,736	3,828	1,809	774	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	観光基礎調査				実施			
	懇談会				5回	2回	3回	3回

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報償費	委員報酬	277	委員報酬	297	委員報酬
旅費	視察旅費等	10	視察旅費等	8	視察旅費等	27	
食糧費	賄い	12	賄い	27	賄い	43	
一般需用	消耗品	59	消耗品	41	消耗品	50	
役務費	テープ反訳	52	テープ反訳	35	テープ反訳	105	
委託料							
使用料	会場使用料	2	バス借上他	66	会場使用料	14	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標							

（問題点・課題 指標分析）	
他区の実 施状況	（ 実施 7 区 未実施 15 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
懇談会の報告を踏まえ、区の観光施策の方向性と新たに取り組むべき事業を明確にし、直ちに実施する必要がある事業に着手する。	区の観光振興の方向性を踏まえ中長期的な対応が必要な事業も含め、体系的、計画的に事業を実施していくことができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	継続	今後の観光振興の方向性や具体的施策を検討するものである。

議 会 要 旨 問 状	
----------------------------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	受入体制整備事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	内田、川上	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	受入体制整備事業（01-03-03）				
事務事業の種類	新規事業	（ 21年度 20年度 ）	建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	17 年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	観光客の多様なニーズに対応できる受入環境の整備促進のため、外国人旅行者にも配慮した外国語（英語、中国語、ハングル）標記の観光案内標識を整備するとともに、来訪者の受入体制の充実を図る。				
対象者等	来訪者				
内容	<p>1 観光案内標識設置事業 東京都観光案内標識設置補助金交付要綱に基づく補助事業 17年度 日暮里地区 4基 18年度 南千住地区 5基 19年度 都電荒川線沿線 5基 20年度 隅田川沿岸 5基 21年度 日暮里地区の改定、標識清掃の開始、三ノ輪停留場の標識の都からの移管予定</p> <p>2 外国人来訪者受入体制整備支援事業(平成20年度～) 外国語版ホームページ・パンフレットの作成支援 区内の宿泊施設を営む事業者が外国語版のホームページ又はパンフレットを新規に作成する場合の初期経費の一部（3分の2上限20万円）を補助する。</p> <p>外国人来訪者向け対応・標記研修の実施 区内の宿泊施設及び飲食店の方を対象に外国人来訪者への接遇や標記方法の習得等の研修を実施する。</p>				
経過	観光案内標識設置事業 平成17年度事業開始（04-03-08観光案内標識設置事業から組み替え） 外国人来訪者受入体制整備支援事業 平成20年度事業開始				
必要性	外国人旅行者の受入れ体制の充実				
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額		2,000	6,000	7,500	6,000	10,005	2,262	
決算額（21年度は見込み）			4,809	5,576	5,961	6,635	2,262	
人件費			3,448	3,416	3,416	3,273		
【事務分担量】（%）			40	40	40	60		
合計（ + ）	0	0	8,257	8,992	9,377	9,908	2,262	
国（特定財源）								
都（特定財源）			4,809	5,575	5,961	6,238		
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	3,448	3,417	3,416	3,670	2,262	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	観光案内標識設置			4	5	5	5	
	外国語版HP作成支援						2	3
	対応・標記研修						1	1

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）	
	委託料	標識作成委託	5,962	標識作成委託	6,239	観光案内標識改修	1,467
						観光案内標識清掃	178
	使用料			会場使用料	0	対応標記研修	16
	補助金			外国語版HP作成支援	396	外国後版HP作成支援	600

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
	設置標識数	9基	14基	19基			数値は累計
	外国語版HP作成支援			2件	5件	8件	数値は累計

（問題点・課題）	<p>パンフレット、HPの作成が外国人旅行者の誘致には必要不可欠であるため、今後とも宿泊施設等に積極的に呼びかけ制度を活用するよう呼びかけていく。</p> <p>あわせて、外国人旅行者が安心して食事ができるよう、飲食店での外国語メニューづくりを試行的実施を検討していく</p>
他区の実況	<p style="text-align: center;">（実施 6 区 未実施 16 区）</p> <p>観光案内標識...台東区、豊島区、中央区、葛飾区、千代田区、足立区他</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
<p>地元イベント（コツ通り商店会納涼祭など）に外国人来訪者を荒川区に呼び込めるよう、城北旅館組合等と協働を図る。</p>	<p>より多くの外国人に対して区内のイベントに参加することで、国際的に荒川区の知名度の向上が図られる。</p>

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	外国人来訪者の受入体制の充実を図る。

議（要旨）	
-------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	都電荒川線活用事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	内田まどか	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	都電荒川線活用事業（01-03-02）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	19年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区の観光資源である都電荒川線を活用し、区外からの観光客を呼び込む。				
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者				
内容	<p>【平成19年度】</p> <p>実施日 9月29日（土） 主催 荒川区、北区 協力 荒川区商店街連合会 後援 東京都交通局 コース 南千住コース、町屋コース、尾久コース、王子コース 参加商店街 ジョイフル三ノ輪、コツ通り商店街、町屋駅前銀座商店街、町屋アベニュー、尾久本町通商店会、ふれあいCITYおぐぎんざ、はっぴーもーる熊野前</p> <p>【平成20年度】</p> <p>実施日 10月12日（日） 主催 荒川区、北区 共催 東京商工会議所荒川支部（東京商工会議所創立130周年記念事業） 協力 荒川区商店街連合会、北区商店街 後援 東京都交通局 コース 南千住コース、町屋コース、尾久・梶原コース、王子コース 参加商店街 ジョイフル三ノ輪、コツ通り商店街、南千住仲通り商店会、町屋駅前銀座商店街、町屋アベニュー、尾竹橋通り三栄会、尾久本町通り商店会、ふれあいCITYおぐぎんざ、はっぴーもーる熊野前</p>				
経過					
必要性	区の観光資源である都電荒川線を中心としたイベントを開催することにより、区のイメージアップ・PRにとどまらず商店街の活性化に寄与するものとする。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

		（単位：千円）						
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算・決算額等の推移	予算額						1,087	1,113
	決算額（21年度は見込み）						876	
	人件費						2,965	
	【事務分担量】（%）						35	
	合計（+）	0	0	0	0	0	3,841	0
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	0	0	3,841	0	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	都電荒川線沿線ウォークラリー						実施	実施

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需用費				参加記念品ほか	124	参加記念品ほか
				台紙、ポスター印刷	336	台紙、ポスター印刷	480
役務費				ポスター掲出料	26	ポスター掲出料	31
委託料				会場設営委託	389	会場設営委託	392

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	都電荒川線沿線ウォークラリー参加者数（人）		800	1,250	1,500	1,500	

（問題点・課題）	<p>（指標数値は、天候等外部的な要因で左右されるため、達成困難な場合が想定されるものである。）</p> <p>今後も継続できる魅力のあるウォークラリーを続けることが必要であるため、今年度の実施にあたりアンケートを行い、今後の事業に活用していく。</p>
他区の実施状況	<p style="text-align: center;">（実施 3 区 未実施 区）</p> <p>港区 「MINATO WALK みんなで歩こう！」</p> <p>足立区 「勝負まつり&ウォークラリー」</p> <p>目黒区 「さんま・たけのコスタンプラリー」</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
アンケート結果により創意工夫を行っていく。	初めての参加者はもとより、リピーターを増やしていくことで、区のイメージアップにつながることを期待される。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	観光振興を図るうえで来訪者を増やすことは重要である。

（状況）	
------	--